

# 第2回 伝承横山音頭大会

～ 熊取の盆踊りで古くから伝わる横山音頭とは？ ～



熊取町の夏の風物詩「盆踊り」で古くから伝わる横山音頭。  
その歴史解説や踊りの振り付けを交えながら紐解いてゆく。  
歌詞に込められた怪奇と忠義の物語。  
今年は横山音頭伝承講師の河合一良氏による迫力ある口演、  
『播州皿屋敷』をお届けします。お楽しみください。

## 【プログラム】

- 第一部 横山音頭とは + 段物紹介
- 第二部 熊取町青年団による横山音頭口演
- 第三部 振付指導
- 第四部 横山音頭伝承講師による口演

## 【出演者】

音頭取り: 河合一良、河合 慶治  
司会: 平井愛弓  
囃子: 阪上知子、平井愛弓  
踊り子: みえの会  
振付指導: 中西 実恵  
大久保青年団: 武島来知、中島維新、壽寛人  
コーディネーター: キタモトマサヤ

※出演者変更になる場合がございます。  
予めご了承ください。

2026. **7.26** (日) **14:00** 開演 [13:30 開場]

**Kiteene Hall**

**熊取町文化ホール**  
Kumatori Town Culture Hall

全席  
自由

入場無料  
申込不要

お問い合わせ

キテーネホール TEL **072-429-9125** [火曜休館 / 9:00-17:00]

主催/熊取町・熊取町教育委員会

# 第2回 伝承横山音頭大会

～ 熊取の盆踊りで古くから伝わる横山音頭とは？ ～

熊取町の旧地区の盆踊り大会で歌い継がれてきた〈横山音頭〉。

〈横山音頭〉はある方の研究によりますと、江戸時代末期に誕生したとされているようです。今の堺市南部から泉佐野市あたりまでの山に面した地域(ゆえに横山)で発展したそうです。当初は盆踊りとしてではなく、浪曲や講談のようにお座敷で聞く芸能として披露されたようで、〈横山口説き〉という名称であったらしいです。ですから歌われてきた、というより語られてきた、というほうが適切かもしれません。

内容はといえば、当時の浄瑠璃(語りによる物語)にもとづいたもので、人気のドラマを太鼓のリズムに乗せて語る、ということになるかと思えます。きわめてシンプルです。なんせその当時はラジオもテレビもありませんし、寄席に通うにも田舎からは遠いでしょう。庶民農民の娯楽として地方の芸能として隆盛を極めたものだと思います。

ところがです。ここからが大切なのですが、いつのまにか過去のものとして消えてゆき、現在では私たちの住む熊取町にしか残っていないのです(貝塚市の山間部に残っているという説がありますが、私は未確認)。私はつい先日、AIに横山音頭について質問してみましたところ、驚くべきことに、この世にそんなものは存在しない、という返答が表示されて愕然としました。生物でいえば絶滅危惧種レッドリスト入りどころか、絶滅認定です。

伝承、ということばがあります。社会や集団のなかで、風習や芸能を受け継いで後世に伝えてゆく、という意味です。

去年の『阿波の鳴門 順礼子別れ唄』につづいて、『播州皿屋敷』を披露してくださる河合一良さんは〈伝承横山音頭〉と称して後進の指導に尽力なさっておられます。



昭和初期の盆踊りの様子

大げさかもしれませんが〈横山音頭〉は私たち熊取町の無形文化財であるといえるかもしれません。みなさん、今一度〈横山音頭〉とはなんなのか、キテーネホールに確かめにきませんか。〈横山音頭〉の火を消さないように、さらなる充実をめざして。

この夏の盆踊り大会が、今までとは一味違った景色に見えるかもしれません。

キタモトマサヤ(横山音頭大会企画者・演出家)

## ACCESS

お車の  
場合

- ・大阪市内から 約60分(約45km)
- ・和歌山市内から 約45分(約40km)
- ・阪和自動車道 貝塚ICから 約10分(約5km)
- ・阪神高速湾岸線 泉佐野北ICから 約10分(約4.5km)

電車の  
場合

- JR阪和線熊取駅から徒歩で約20分(1.6km)
- タクシー・バスで約6分
- 熊取駅へはJR大阪駅から関空快速で約45分
- JR天王寺駅から快速で約30分

バスの  
場合

- 南海バス 熊取役場前下車、徒歩で約3分
- 熊取役場前へは熊取駅前から約3分
- 泉佐野駅前から約16分



かむかむ  
熊取町  
公民館  
プラザ

Kiteene Hall  
熊取町文化ホール

キテーネホール：大阪府泉南郡熊取町野田2丁目9番15号  
かむかむプラザ：大阪府泉南郡熊取町野田1丁目1番12号